

第1回東北ブロック下水道ビジョン策定委員会を開催しました。

東北地方における、下水道の整備・管理のあり方並びに中長期的視点から重点化すべき事項及びその目標を明確にし、下水道整備の基本方針とするとともに地域にわかりやすい行政を目指すことを目的とした、「東北ブロック下水道ビジョン策定委員会」が、平成15年6月5日（木）に仙台ホテルにおいて設立され、引き続き第1回委員会が開催されました。

委員会に先立ち、委員長に野池委員（東北大学大学院 工学研究科教授）が選任され、委員会については公開とすることが承認されました。これに基づき第1回委員会の議事要旨について、別紙の通り公表するものです。

なお、次回開催は8月頃を予定し、現地視察も併せて実施予定です。

委員会の開催状況



第1回東北ブロック下水道ビジョン策定委員会 議事要旨(案)

日 時：平成15年6月5日(木) 15:00～17:00

場 所：仙台ホテル(5Fカトレア)

出席者：

委 員 阿部委員、江成委員、小田島委員、中村委員、野池委員、三村委員、
森川委員、山本委員、横山委員

行政連絡会 国土交通省：東北地方整備局 大野建政部長、高橋都市調整官 他
東北六県・仙台市：下水道事業主管課長 他

次 第：

- (1)開会
- (2)挨拶(東北地方整備局 建政部長)
- (3)委員紹介
- (4)委員会設立趣旨・規約確認
- (5)委員長選出
- (6)議事
 - 1) 検討内容と今後の進め方
 - 2) 東北地方の下水道事業を取り巻く環境
 - 2-1) 下水道の役割
 - 2-2) 東北地方の下水道事業の現状
 - 2-3) 東北地方の地域特性
 - 3) 東北地方の下水道整備に係わる検討課題
 - 4) その他

配布資料：

- 資料 - 1 委員会設立趣旨(案)
- 資料 - 2 委員会規約(案)
- 資料 - 3 検討方針(案)
- 資料 - 4 第1回委員会 検討資料
- 資料 - 5 第1回委員会 参考資料

1. 決定された事項

委員会設立趣旨及び委員会規約が承認。

「野池委員」が委員長に選任。

規約6条(公開)について、委員会を公開することが承認。

検討方針(案)が承認。

2. 主な意見等

汚水対策について

- ・東北地方で下水道（汚水対策）が遅れている理由には「財源確保の問題」、「都市化そのものが遅れていた」、「下水道の優先順位が低かったこと」、などが挙げられる。
- ・今後、特に費用や財政面について、議論を深める必要がある。

雨水対策について

- ・今までは雨水を速やかに排除してきたが、雨水流出抑制にも取り組み始めている。
- ・雨水貯留、浸透対策について、施設の軒先利用、雨水再利用は地域住民の理解が必要である。

水環境・水循環について

- ・水循環の健全化のためには、下水道がどのように貢献できるか、また、処理水利用、雨水利用をどう考えるかが重要である。
- ・有機物の循環の中で、下水道をどう位置づけるかが重要である。
- ・処理水の再利用が進捗していない理由には「コストがかかること」、「処理水が水質面での理解が得られていないこと」、「東北地方は恒常的な水不足がないため、渇水対策としての処理水利用の意識が低いこと」などが挙げられる。
- ・東北地方では積雪対策(融雪等)としての処理水利用は有効な手段と考えられる。
- ・河川環境は水質とともに水量についても考えるべきであり、下水道のバイパスによる河川の水量の減少は課題と認識している。
- ・水循環を表す指標の工夫が必要である。

下水道に関する技術について

- ・次回、下水道に関する海外の事例、行政や研究機関での技術を紹介する。
- ・し尿処理、汚泥処理(コンポスト、エネルギー回収等)の現状について、資料を整理する。

下水道に対する住民認識について

- ・住民は河川水質に対する問題意識が低いため、下水道について知識を広めるなどの啓発活動が必要である。
- ・環境負荷低減の観点から、住民が汚水を減らすことも河川水質に対し効果的であると考えられるため、下水道への排水の仕方などの情報を提供すべきである。
- ・P Iとして一般住民と市町村長を対象にアンケート調査を実施予定である。(内容については次回説明)

下水道ビジョン検討における視点

- ・視野を広く持ち『東北らしさ(東北方式、東北独自の視点)』を示す必要がある。
- ・下水道及び他の類似施設を含めてトータルとして考えるべきであり、他事業との連携もビジョンに盛り込むべきである。

3. 次回委員会について

- ・次回委員会は8月頃を予定し、現地視察も併せて実施予定である。 以上